

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-59	中学校	数 学	数 学	3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	906	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学 3		
	907	見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学 3 探究ノート		

1. 編修の基本方針

新たな社会の姿として Society 5.0 が提唱されるなど、私たちを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。すでにある社会的な諸問題に加え、従来には見られなかったような課題を抱えるようになる中で、未来を生きる中学生には、それらを解決に導く力と、困難に対して果敢に挑戦する積極性を身につけることが求められます。数学は、複雑な事象を簡潔に表現したり、事象の仕組みを解明したりする際に大変役に立ちます。他者と協働しながら論理的・批判的に思考し、創造的に問題を解決する学びを通して、中学生が確かな数学の力と数学を活用しようとする態度を身につけ、社会の継続的な発展・維持に主体的に参画するようになることを目指して、この教科書をつくりました。

教科書編修における 4 つの理念！

1

数学の基礎的・基本的な知識や技能が
確実に身につけ、豊かな人生を送る
ための基盤をつくれます。

2

数学的な見方・考え方や自己の考えを
表現する力が、日々の学びを通して
自然に身につきます。

3

個に応じた力を伸ばし、創造性を培い、
身につけたことを生活の中で活用する
力を高めます。

4

生命や自然、伝統や文化、他国を尊重
するとともに、社会をよりよく
しようとする態度を養います。



1

数学の基礎的・基本的な知識や技能が確実に身につく、豊かな人生を送るための基盤をつくります。

- 各章の学習に入る前に、その章に関連する既習事項を確認できるようにしています。
- 丁寧な説明と豊富な例示で、生徒が独力でも読み進められるようにしています。
- 巻末の演習ページに、教科書本文の内容を確認できる問題を豊富に掲載しています。

1 年の復習

● 正の数と負の数
次の計算をなさい。

(1) $9 + (-12)$
(4) $9 - 37 - (-13)$
(7) $6^2 \div (-9) \times (-2)$

2 年の復習

● 式の計算
次の計算をなさい。

(1) $(5m+3n) + (4m-2n)$ (2) $(4x^2-5x+3) - (7x^2-6x+3)$
(3) $(9a-6b) \times (-3)$ (4) $(8x^2-12x-10) \div \left(-\frac{2}{5}\right)$

【1年の復習】【2年の復習】（本冊 p.243 ~ 246）

ふりかえり

1 章 式の計算 の学習の前に

1. 多項式の計算

(1) 数と多項式の乗法、単項式どうしの乗法
(例1) $3(x+5y) = 3 \times x + 3 \times 5y$
 $= 3x + 15y$
(例2) $2a \times (-7ab) = 2 \times (-7) \times a \times a \times b$
 $= -14a^2b$

【既習事項の振り返り】（本冊 p.14 ほか）

第1章 式の計算

力をつけよう!

● 単項式と多項式の乗法、除法 □ 16, 17 ページ

1 次の計算をなさい。

(1) $-3a(2a-5b)$ (2) $5a(2b-5c-1)$
(3) $(3x^2-6xy) \times \frac{1}{3}x$ (4) $(8x^2y+4y) \div 4y$

【巻末演習ページ：チャレンジ編】（本冊 p.247 ~ 283）

2

数学的な見方・考え方や自己の考えを表現する力が、日々の学びを通して自然に身につきます。

- Q や TRY, その他生徒に考えさせるような問いかけを各所にバランスよく配置し、これまでと変わらない授業時数の中で、**数学的活動を効果的に取り入れることができるようにしています。**
- 数学的活動を意図した場面には、生徒たちが**数学的な見方・考え方を**はたらかせながら解決に向かう姿を**対話形式で掲載し、紙面上で授業の流れを見てとれるようにしています。**活動を行う前の見通しとしても、活動後の振り返りとしても活用することができます。
- 事実・方法・理由などを説明する問い、自己の考えを他者に伝える機会を増やすなど、**言語活動を充実させるようにしています。**

TRY1 宅配料金を比較しよう。

宅配会社 A, B では、荷物の重さによって、それぞれ次のような料金設定になっています。

A 社		B 社	
重さ	料金	重さ	料金
10 kg 以内	1000 円	7 kg 以内	800 円
20 kg 以内	2000 円	12 kg 以内	1300 円
		20 kg 以内	1800 円

荷物の重さを x kg, そのときの料金を y 円とすると、A 社の料金をグラフにすると右のようになります。

A 社と B 社の料金を比べて、どのような場合にどちらの会社を利用すれば安くなるか、説明しましょう。

かんなんさん: B 社の料金のグラフも、同じようにかけそう。

まなとさん: 式はわからないけど、表やグラフから、同じ重さのときに A 社と B 社のどちらが安いかは比べられるね。

【判断の根拠を説明する TRY と対話】（本冊 p.123）

TRY1 角の関係を調べよう。

右の図の円 O について、 $\widehat{AB}$ を除いた円周上に 2 点 P, Q をとります。2 つの円周角 $\angle APB$ と $\angle AQB$ の関係を調べましょう。

こんなふうに点をとったよ。

みかさん

こんなふうにかいたよ。

ひびきさん

ひびきさんみたいに P を A に近づけると、円周角は小さくなるのかな？

実際に角の大きさを測ってみよう。

【円周角の性質を見いだす TRY と対話】（本冊 p.171）

Q 右下の図は、前ページの例 5 において、左辺を $(x+m)^2$ の形にする変形を図で表したものです。この図が、例 5 の式の変形とどのように対応しているか説明してみましょう。

例 5 の式の変形

$$x^2 + 4x = 1$$

$$x^2 + 4x + 2^2 = 1 + 2^2$$

$$(x+2)^2 = 5$$

【式と図の対応を説明する Q】（本冊 p.84）

3

個に応じて力を伸ばし、創造性を培い、
身につけたことを生活の中で活用する力を高めます。

- **学んだ内容を活用して解決するタイプの TRY** を各所に設け、
数学の有用性が感じられるようにしています。
生徒が**多様な考え**を出し合いながら、解決を目指す活動が
行えます。
- **現実の世界の問題と数学の世界の問題**をバランスよく配置し、
また、必要に応じてそれらが相互につながるようにしています。
- 「説明しよう」「調べよう」など、活動的な話題を各所に設け、
興味・関心に応じた取り扱いができるようにしています。
- **ICT の活用**

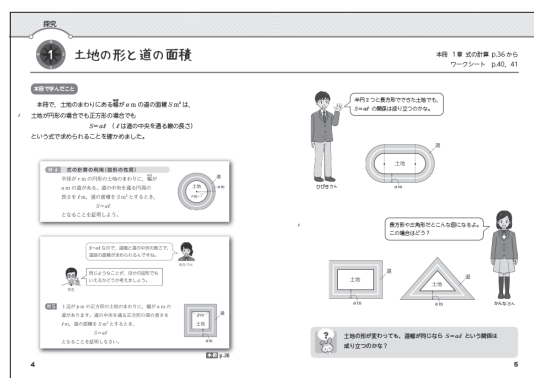
「補充」「資料」「イメージ」「考察」の4種類の
Link アイコンでインターネットを介して
教科書とデジタルコンテンツがリンクし、
生徒個人や学校環境に応じた対応がとれる
ようにしています。



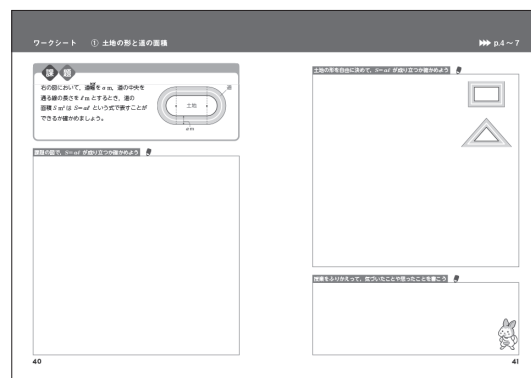
<https://www.chart.co.jp/dl/su/jhs/03/index.html>



- **別冊**
別冊には、**本冊の内容を深め、学びを発展させるための素材**を掲載しています。
別冊の内容は、生徒の学習状況に合わせて、時期や分量を自由に決めて取り扱うことができます。
巻末に、活動を円滑に進めるための**ワークシート**を用意しています。



【探究題材：土地の形と道の面積】（別冊 p.4～7）



【ワークシート：土地の形と道の面積】（別冊 p.40～41）

4

生命や自然、伝統や文化、他国を尊重するとともに、
社会をよりよくしようとする態度を養います。

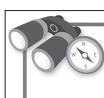
- 福祉・資源・地球環境など私たちが抱える諸問題について、
数学を学びながら自然な形で触れられるようにしています。
- 選挙を話題として取り上げ、主権者としての意識を高められる
ようにしています。

全数調査と標本調査



選挙では、投票所の出口で投票した人の
何人かに投票行動をたずね、選挙結果を
事前に予想することがあります。
なぜ、全体ではなく一部を調べるので
しょうか。

【選挙と標本調査】（本冊 p.218, 242）



選挙速報

2016 年から選挙権年齢が 20 歳以上から 18 歳以上に
引き下げられました。選挙の結果というのはすべての
票を開票するまで確定しませんが、ある人が当選するか
どうかについては、ある程度予測することができます。



ミクロの世界

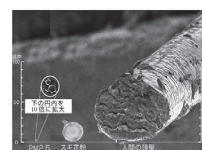
大気汚染の原因となる粒子状物質 (particulate matter) の中で、 $2.5\mu\text{m}$
(マイクロメートル) 以下のものを、特に PM2.5 とよびます。近年、この
PM2.5 が新聞やニュースで取り上げられる機会が増えています。

$1\mu\text{m}$ は、 1m の $\frac{1}{1000000}$ 。すなわち

1mm の $\frac{1}{1000}$ です。人間の髪の毛の

太さは $80\mu\text{m}$ 程度、スギ花粉の直径は
 $30\mu\text{m}$ 程度ですから、PM2.5 がいかに
小さいかがよくわかります。

PM2.5 は、この小ささのため人間の
肺の奥深くまで入り込み、呼吸器系・
循環器系に悪い影響をおよぼすことが
心配されています。



(東京都環境局ホームページより)

【PM2.5 に関する話題】（本冊 p.234）

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
本冊全体		日本各地の話題・写真を取り上げ、我が国と郷土に対する理解が深まるようにしました。(第5号)	本冊全体
		授業における活動の指針になるようにペア学習、グループ学習を想定した対話を各所に設け、自他の敬愛と協力を重んじる態度が養われるようにしました。(第3号)	本冊全体
巻 頭		「レポートの書き方」の中で、テーマの選び方を紹介し、真理を求める態度が養われるようにしました。(第1号)	本冊 p.12, 13
1章	式の計算	複数の形式の速算法を話題として取り上げ、幅広い知識と教養が身につくようにしました。(第1号)	本冊 p.15, 37
2章	平方根	田植えに関する問題を通して、食に関する意識を高めるとともに、自然を大切にする態度が養われるようにしました。(第4号)	本冊 p.63
3章	2次方程式	道をつくる問題、箱を作る問題を通して、生活との関連を重視する態度が養われるように配慮しました。(第2号)	本冊 p.92, 93
4章	関数 $y=ax^2$	キャラクターに問いを発展させる内容の発言をさせることで、個人の能力を伸ばすことができるようにしました。(第1号)	本冊 p.122
5章	相似	ピザのサイズに関する課題や容器に水を入れる課題を取り上げ、生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	本冊 p.162, 163
6章	円	古代ギリシャの哲学者ターレスの業績に触れ、他国を尊重する態度が養われるようにしました。(第5号)	本冊 p.178
7章	三平方の定理	テレビの大きさに関する課題を取り上げ、生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	本冊 p.200
8章	標本調査	睡眠状況の調査を取り上げ、健やかな身体を養う意識が高まるようにしました。(第1号)	本冊 p.230
数学旅行		ピタゴラスや和算の話題を通して、数学の歴史と文化に触れ、我が国と他国をともに尊重する態度が養われるようにしました。(第5号)	本冊 p.239 ~ 241
ぐんぐんのばそう チャレンジ編		本文の内容を深めるための問題を充実させ、幅広い知識と教養が身につくようにしました。(第1号)	本冊 p.247 ~ 283
別冊全体		本冊で学んだ内容から新たな疑問や課題を見だし、数学的活動を通して主体的に解決を目指すようすを、生徒たちの具体的な対話として掲載することで、真理を求める態度や自主・自律の精神が自然と養われるようにしました。(第1号)	別冊全体
		数学の体系的つながりを重視し、自然な形で学びを深められるようにすることで、個に応じて能力を伸ばすことができるようにしました。(第2号)	別冊全体

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法や学校教育法に示された義務教育の目的・目標を達成するために、以下のような配慮をしています。

学びのつながり、中高の連携

- 中学3年間の学習内容を、領域ごとに整理しやすい形でまとめています。(本冊 p.284 ~ 291)
- 必要に応じて高等学校の学習につながる内容を取り上げ、内容の系統性を理解できるようにしています。

● 中学で学んだ方程式の形と解の個数について

(1元) 1次方程式	2元 1次方程式
式の形 $ax+b=0$	式の形 $ax+by=c$
(1次式)=0	解の個数 無数にある
解の個数 1個	2つの式を連立させると、 解が1組に決まる。「連立方程式」
(1元) 2次方程式	
式の形 $ax^2+bx+c=0$	方程式はほかにもある？
(2次式)=0	
解の個数 2個	連立させる式の数がもっと多くなる？
(同じ解が重なって1個になる場合もある)	

(本冊 p.13)

求めてみよう 平均の速さ

例4において、1秒後から1.1秒後、1秒後から1.01秒後、……と時間の幅を小さくして、平均の速さを求めてみましょう。平均の速さはどのように変化するでしょうか。

1秒後～1.1秒後	4.2 m/s
1秒後～1.01秒後	
1秒後～1.001秒後	
……	…

また、2秒後から2.1秒後、2秒後から2.01秒後についても、平均の速さを求めてみましょう。

4.2 m/s は秒速 4.2 m を表す。
s は「秒」を意味する。

(本冊 p.116)

三角形の重心と内心

重心
三角形の1つの頂点とそれに向かい合う辺の中点を結んだ線分を中線という。
これまでに学んだことを利用して、三角形の中線の性質を考えよう。

(本冊 p.166)

ユニバーサルデザイン

- 全体にわたって UD フォントを大きめのサイズで用い、文章は文節で改行して、読みやすくなるようにしています。
- カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚の特性によらず識別しやすい配色にしています。また、全体を、特別支援教育の観点から、専門家が検査しています。
- 奇数ページにツメ見出しをつけ、ページの検索性が高まるようにしています。
- 太字、下線、枠囲いなどを使用し、大事なところがわかりやすくなるようにしています。
- グラフや図をかく問題、長さや角度を測る問題などについては、教科書中にかき込みやすくなるように、図を大きくしたり、小口(本の外側)に配置するようにしています。

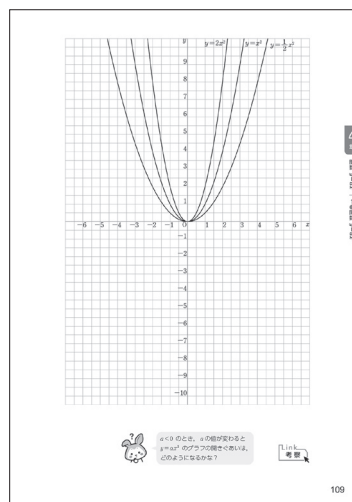
● 平面図形

6 左の図のように、線分 AB, BC があります。
∠ABC の二等分線上の点で、2点 B, C から等しい距離にある点 P を、作図によって求めなさい。

(本冊 p.244)

学び方に対する意識を高めるくふう

- 「学習の進め方」のページを通して、主体的な学びの進め方を紹介しています。(本冊 p.8, 9)
- 「ノートづくり方」、「レポートの書き方」を取り上げ、主体的に学習する態度を養えるようにしています。(本冊 p.10 ~ 13)
- 各項目の学びの主たる目標を、マークで具体的に示し、学習の見通しがもてるようにしています。
- 後見返しのチェックシートで、「何ができるようになったか」を自己評価できるようにしています。



(本冊 p.109)

1章

式の計算 — 1 多項式の計算

ツメ見出し

編修趣意書

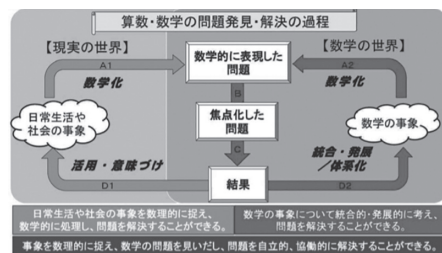
(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-59	中学校	数 学	数 学	3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	906	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学 3		
	907	見方・考え方がはたらき, 問題解決のチカラが高まる これからの 数学 3 探究ノート		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 日々の学びを通して, 生徒たちが自分で考え, 問題解決に向かう力を身につけることができるようにつくられています。

- ◆ 右の図の問題発見・解決の過程に基づき, 学習内容を習得できるようにしています。それぞれの場面においてポイントとなる箇所には, キャラクターたちのリアルな対話が記されています。
この教科書を使う生徒たちが**数学的な見方・考え方をはたらかせ**るきっかけとなり, **主体的・対話的で深い学び**を実現します。



(学習指導要領解説より引用)

既習事項をもとに考える

例 4 分母の有理化と加法

$\sqrt{\frac{3}{2}} + \frac{9}{\sqrt{6}}$ を計算しよう。



$a\sqrt{b}$ の形に変形できるかな。

有理化して考えたらどうか。



(本冊 p.60)

性質を見いだす

Q

△ABC の 2 辺 AB, AC の中点を, それぞれ M, N とします。
M と N を結んだ線分 MN の長さは, 線分 BC の長さとのような関係になるでしょうか。



MN:BC を調べればいいね。

MN:BC と等しい比はないかな？



Link 考察

(本冊 p.149)

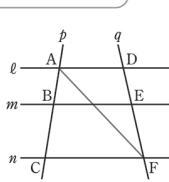
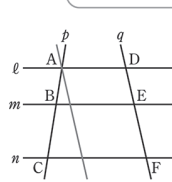
多様な考え方をする

三角形があると, 線分の比を
考えることができるね。
三角形をつくってみたらどうか？



q に平行になるように
補助線をひいてみたよ。

2 つの三角形ができるように
補助線をひいたよ。



(本冊 p.154)

誤りをもとに考える

TRY1 $y=x^2$ の変域を求めよう。

関数 $y=x^2$ について, x の変域が $-1 \leq x \leq 2$ であるとき, y の変域を求めよう。

ふりかえり
1 次関数 $y=ax+b$ の
変域

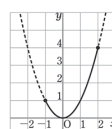
▶ 96 ページ



こんなふうに計算しました。

ひびきさんの解答が正しいかどうかを,
グラフの形をもとに考えよう。

$x=-1$ のとき $y=(-1)^2=1$
 $x=2$ のとき $y=2^2=4$
よって, y の変域は $1 \leq y \leq 4$



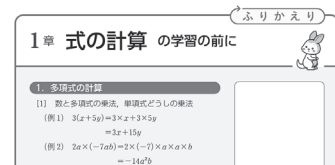
先生

(本冊 p.113)

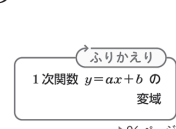
2

これまでに学んだ学習内容のつながりに配慮し、
基本的な知識・技能を確実に身につけることができますようにしています。

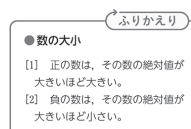
- ◆ 各章の初めに「ふりかえり」として、その章の内容に関係する既習事項を、確認問題とともにまとめています。
また、本文中においても既習事項を確認できるようにしています。
- ◆ 新たな学習事項と既習事項とのつながり、共通点やちがいがわかるように記述しています。
- ◆ 例はなるべく丁寧に示すようにしています。また、例に汎用性をもたせつつ、例と問の間に大きなギャップが出ないように配慮しています。
- ◆ 巻末演習ページ「チャレンジ編」にも標準的な問題を多数掲載しています。また、弊社ホームページを通じて、教科書の補充問題に取り組めるようになっています。



【既習事項の振り返り】(本冊 p.14)



(本冊 p.113)



(本冊 p.48)

問4 適当な公式を用いて、次の式を展開しなさい。

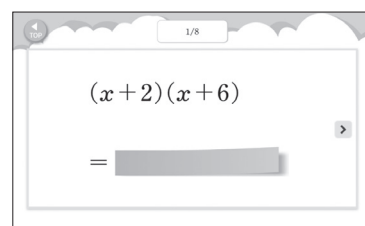
(1) $(x+6)^2$	(2) $(x-3)(x-7)$	(3) $(a+2)(a-2)$
(4) $(a+6)(a-5)$	(5) $\left(x-\frac{1}{2}\right)\left(x+\frac{1}{2}\right)$	(6) $\left(y-\frac{3}{4}\right)^2$
(7) $(-x+3)^2$	(8) $(4-a)(8-a)$	(9) $(x+y)(y-x)$

Link 補充

【問の補充問題への Link アイコン】(本冊 p.23)



<https://www.chart.co.jp/dl/su/jhs/03/index.html>



3

思考力・判断力・表現力を高めることができるように、
知識・技能を活用する機会、学びを発展させる機会を豊富に設けています。

- ◆ 学んだ内容を活用する機会を豊富に設け、**数学の有用性を感じられるようにしています。**生徒が多様な考えを出し合いながら、解決を目指す活動が行えます。
- ◆ 各章の**学びから発生する自然な疑問**を扱った題材や**日常生活の中にある数学**に着目した題材を別冊で取り上げ、**知識・技能の活用や学びの発展の機会**がもてるようにしています。



三角形や四角形のほかに、曲線でできた図形についても相似な図形をかくことができるのかな？

課題

関数のグラフは点の集まりなので、本冊 135 ページの方法を利用して相似なグラフをかくことができそうです。
原点を相似の中心として、 $y=x^2$ のグラフ上の点の位置を 2 倍にのばしてみよう。それらの点の集まりは、どんな図形になりますか？

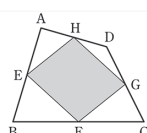
【曲線図形を拡大させる】(別冊 p.13, 14)



ほかに、中点を結んでできる四角形が、ひし形や長方形になることはないの？

課題

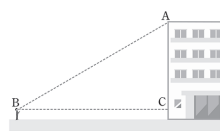
四角形 ABCD において、辺 AB, BC, CD, DA の中点をそれぞれ E, F, G, H とします。
四角形 ABCD をどんな形にすると、四角形 EFGH がひし形や長方形になるか調べましょう。



【図形を変形した場合の変化を考える】(別冊 p.19, 20)

TRY1 縮図をかくて求めよう。

ひびきさんは、校舎の高さを求めようと思い、校舎から少し離れた場所に立って、校舎の先端を見上げました。この校舎の高さを、縮図を利用して求めるには、どんなことを調べればよいでしょうか。



上の図の△ABC は直角三角形になるね。



△ABC の縮図をかくには、どこの辺の長さや角の大きさがわかればいいかな？

校舎の高さを求めるには、ひびきさんの目の高さも考えないといけませんね。



問4 TRY1 において、ひびきさんが校舎の先端を見上げた角の大きさが 30° で、見上げた場所は校舎から 15 m 離れていました。
地面からひびきさんの目までの高さを 1.5 m として、校舎のおよその高さを求めなさい。

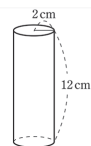
縮尺率は、自分で決めよう。



【相似を利用して解決する】(本冊 p.161)

課題

右の図のような、底面の半径が 2 cm、高さが 12 cm の円柱の側面を切り開いて巻き直し、ちがう形の円柱を作るとき、新しい円柱の底面の半径や体積はどうなるか調べましょう。



【トイレットペーパーの芯の展開】(別冊 p.34)

4 学習内容の習得と合わせて、学び方も身につくようにしています。

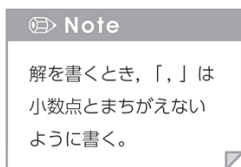
巻頭に、学び方に関する紹介のページを設けています。

◆ 学習の進め方

グループ学習を行ったり、発表したりする際の注意点をまとめています。

◆ ノートのつくり方

ノートのとり方全般に関する注意点をまとめています。
また、書き方の具体的な注意点がある場合は、
「Note」として、本文脇に示すようにしています。



(本冊 p.77)

◆ レポートを書こう

レポートの書き方についてまとめています。レポートを書くときの注意点だけでなく、テーマの選び方についても触れています。

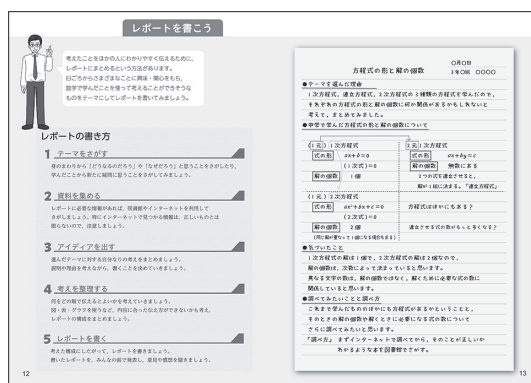
◆ ICTの活用

「補充」「資料」「イメージ」「考察」の4種類のアイコンは、補助教材へのリンクマークです。家庭学習にも活用することができます。

- グループで話し合うときは
- ・自分の意見を言うときは、考えていることをわかりやすく伝えましょう。
 - ・まちがっているかもしれないと思って、積極的に発言しましょう。
 - ・ほかの人の意見をよく聞きましょう。また、ほかの人の意見に対して思ったことを伝えましょう。
 - ・誰がどんなことを言ったか、書きとめておくようにしましょう。
 - ・わからないと思ったことは、質問しましょう。
 - ・全員が発言できるようにしましょう。



【学習の進め方】(本冊 p.8, 9)



【レポートを書こう】(本冊 p.12, 13)

5 教科書のつくりにも配慮して、学習効果が高まるようにしています。

◆ 1時間の区切りが、ページの途中にならないようにしています。

◆ 重量が生徒の負担にならないように、本冊と別冊に分けています。また、印刷には軽くて丈夫な紙を使用しています。

◆ ユニバーサルデザインに基づいてつくられています。文字は全体にわたってUDフォントを大きめのサイズで用い、本文は文節で改行して、読みやすくなるようにしています。

また、太字、下線、枠囲いなどを使用し、大事なところがわかりやすくなるようにしています。

◆ 色覚の特性によらず識別しやすい配色にしています。

◆ 印刷には、植物油インクを使用し、環境に配慮しています。

◆ 本冊、別冊とも、堅牢なつくりになるように製本しています。また、生徒の安全面を考慮して、針金を使わない製本様式を採用しています。

これからの 学びの形に合った
数学 教科書です。

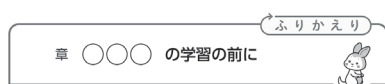


2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1章の学習の前に 1章 式の計算 1 多項式の計算 2 因数分解 3 式の計算の利用 問題	A 数と式 (2) A(2) ア (ア) A(2) ア (イ) A(2) イ (ア) A(2) ア (イ) A(2) イ (ア) A(2) イ (イ)	14 ページ 15 ～ 39 ページ 16 ～ 25 ページ 26 ～ 33 ページ 34 ～ 37 ページ 38 ～ 39 ページ	17
2章の学習の前に 2章 平方根 1 平方根 2 根号をふくむ式の計算 問題 発展 $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明	A 数と式 (1) A(1) ア (ア) A(1) ア (ウ) A(1) ア (イ) A(1) ア (ウ) A(1) イ (ア) A(1) イ (イ) 内容の取扱い (1)	40 ページ 41 ～ 71 ページ 42 ～ 52 ページ 53 ～ 68 ページ 69 ～ 70 ページ 71 ページ	17
3章の学習の前に 3章 2次方程式 1 2次方程式 2 2次方程式の利用 問題	A 数と式 (3) A(3) ア (ア) A(3) ア (イ) A(3) ア (ウ) A(3) イ (ア) 内容の取扱い (2)(3) A(3) イ (イ) 内容の取扱い (2)	72 ページ 73 ～ 95 ページ 74 ～ 89 ページ 90 ～ 93 ページ 94 ～ 95 ページ	16
4章の学習の前に 4章 関数 $y=ax^2$ 1 関数 $y=ax^2$ 2 関数の利用 問題 発展 放物線と直線の交点の座標	C 関数 (1) C(1) ア (ア) C(1) ア (イ) C(1) イ (ア) C(1) ア (ウ) C(1) イ (イ)	96 ページ 97 ～ 127 ページ 98 ～ 118 ページ 119 ～ 124 ページ 125 ～ 126 ページ 127 ページ	16
5章の学習の前に 5章 相似 1 相似な図形 2 平行線と線分の比 3 相似の利用 問題 発展 三角形の重心と内心	B 図形 (1) B(1) ア (ア) B(1) ア (イ) B(1) イ (ア) B(1) イ (イ) B(1) イ (ウ)	128 ページ 129 ～ 167 ページ 130 ～ 146 ページ 147 ～ 158 ページ 159 ～ 163 ページ 164 ～ 165 ページ 166 ～ 167 ページ	23
6章の学習の前に 6章 円 1 円 問題 発展 円に関するいろいろな性質	B 図形 (2) B(2) ア (ア) B(2) イ (ア) B(2) イ (イ) 内容の取扱い (4)	168 ページ 169 ～ 189 ページ 170 ～ 184 ページ 185 ～ 186 ページ 187 ～ 189 ページ	10
7章の学習の前に 7章 三平方の定理 1 三平方の定理 2 三平方の定理の利用 問題	B 図形 (3) B(3) ア (ア) B(3) イ (ア) B(3) イ (イ)	190 ページ 191 ～ 215 ページ 192 ～ 199 ページ 200 ～ 211 ページ 212 ～ 213 ページ	15

8章の学習の前に 8章 標本調査 1 母集団と標本 問題	Dデータの活用(1) D(1)ア(ア) D(1)ア(イ) D(1)イ(ア) D(1)イ(イ)	216 ページ 217～232 ページ 218～230 ページ 231 ページ	8
数学旅行 ミクロの世界 リレーのバトンパス 皆既日食と金環日食 曲尺と数学 ピタゴラス 日本の数学～和算～ 選挙速報		233～242 ページ 234 ページ 235 ページ 236～237 ページ 238 ページ 239 ページ 240～241 ページ 242 ページ	
1年の復習 2年の復習		243～244 ページ 245～246 ページ	
ぐんぐんのぼそう チャレンジ編		247～283 ページ	
		計	122

以下の内容と別冊は、生徒の実態や学校の状況に応じて取り扱うことができます。



別冊の内容

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
【探究】 ① 土地の形と道の面積 ② 平方根の値の増え方 ③ 放物線と相似 ④ ひし形と長方形をつくる 【課題学習】 ⑤ 大きなサイズのパンケーキ ⑥ 白銀長方形と黄金長方形 ⑦ 円柱の側面を巻き直す ⑧ 教科書中の文章の数	【発展】 【発展】	4～7 ページ 8～11 ページ 12～17 ページ 18～21 ページ 22～25 ページ 26～31 ページ 32～35 ページ 36～39 ページ	

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-59	中学校	数 学	数 学	3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	906	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学 3		
	907	見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学 3 探究ノート		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
本冊 71	$\sqrt{2}$ が無理数であることの証明	1	2 内容 A 数と式 (1) ア (ア) 「数の平方根の必要性和意味を理解すること」 2 内容 A 数と式 (1) ア (イ) 「数の平方根を含む簡単な式の計算をすること」	1
本冊 127	放物線と直線の交点の座標	2	2 内容 C 関数 (1) イ (ア) 「表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること」	1
本冊 166, 167	三角形の重心と内心	1	2 内容 B 図形 (1) イ (ア) 「三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること」 2 内容 B 図形 (1) イ (イ) 「平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめること」	2
本冊 187 ~ 189	円に関するいろいろな性質	1	2 内容 B 図形 (2) ア (ア) 「円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知ること」 2 内容 B 図形 (2) イ (イ) 「円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること」	3
本冊 236, 237	皆既日食と金環日食	2	2 内容 B 図形 (1) イ (ウ) 「相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること」	2
本冊 264, 265	放物線と直線 例題 3, 問題 12, 例題 4, 問題 13	2	2 内容 C 関数 (1) イ (ア) 「表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること」	2

本冊 279	直角三角形と円の接線 例題 1, 問題 11	1	2 内容 B 図形 (2) イ(イ) 「円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること」 2 内容 B 図形 (3) イ(イ) 「三平方の定理を具体的な場面で活用すること」	1
別冊 8～11 42, 43	平方根の値の増え方	1	2 内容 A 数と式 (1) ア(ア) 「数の平方根の必要性和意味を理解すること」 2 内容 C 関数 (1) ア(ウ) 「いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解すること」	6
別冊 12～15 44, 45	放物線と相似	2	2 内容 B 図形 (1) ア(ア) 「平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解すること」 2 内容 C 関数 (1) イ(ア) 「表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること」	6
合 計				24

(「類型」欄の分類について)

- 1 ……学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 ……学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容